

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 4 区分

【発行日】平成 25 年 9 月 5 日 (2013.9.5)

【公開番号】特開 2012-136760 (P2012-136760A)

【公開日】平成 24 年 7 月 19 日 (2012.7.19)

【年通号数】公開・登録公報 2012-028

【出願番号】特願 2010-291404 (P2010-291404)

【国際特許分類】

B 2 2 F 3/035 (2006.01)

B 3 0 B 11/02 (2006.01)

【F I】

B 2 2 F 3/035 D

B 3 0 B 11/02 F

【手続補正書】

【提出日】平成 25 年 7 月 23 日 (2013.7.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 9】

図 7 の前記焼結部品 A は、上面に半円状の凹み部 1 を有し、側面に突起 7 を有する。図 3 は前記上ダイ 3 及び前記下ダイ 4 の拡大図である。前記上ダイ 3 には上部成形孔 8 が形成され、前記第 1 下ダイ 4 a には下部成形孔 9 が形成されている。前記上部成形孔 8 と前記下部成形孔 9 は前記第 1 下ダイ 4 a の上面において段差無くつながれているか、前記上部成形孔 8 の方が前記下部成形孔 9 よりも大きい断面を持つように設定される。前記下部成形孔 9 の側面には前記焼結部品 A の前記突起 7 を形成するための段差 10 を有する。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 1】

図 2 は金型側方からの金型断面図である。前記上ダイ 3、前記ダイプレート 6 の上面には、冶金用粉末を供給するフィーダーボックス 15 が前後摺動可能な状態で接している。前記フィーダーボックス 15 の前面には、粉末カキ 16 が設けられている。図 1 に示すように、前記粉末カキ 16 には前記溝部 11 の形状に沿った形状の突起部 17 が形成されている。前記フィーダーボックス 15 の前後動作に伴い、前記上部成形孔 8 及び前記下部成形孔 9 に供給された冶金用粉末のうち、不要部分の冶金用粉末を前記粉末カキ 16 の前記突起部 17 が除去する。